HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	汚れた雪の結晶の変形
Author(s)	小島, 賢治
Citation	低温科學, 6, 167-167
Issue Date	1951-03-31
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/17494
Type	departmental bulletin paper
File Information	6_p167-167.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

Kenji KOZIMA 1951 Change in Shape of a Stained Snow Crystal. *Low Temperature Science* 6.

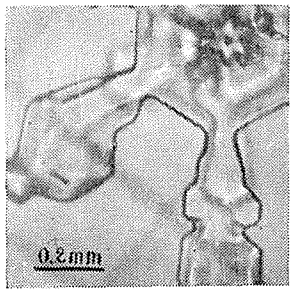
汚れた雪の結晶の變形

小　島　賢　治

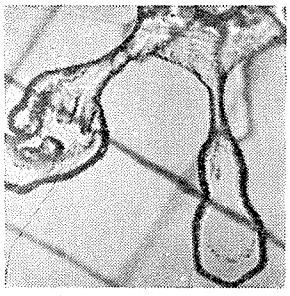
(低溫科学研究所　応用物理学部門)

(昭和25年10月受理)

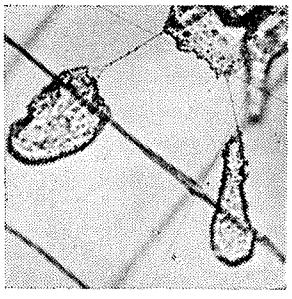
a



b



c



ふつてきたばかりの雪の結晶を絹のせんいの網にのせて，それが変形してゆくようすを顯微鏡で觀察したが（本誌第5輯の“吉田順五，小島賢治：雪の結晶の変形”参照），觀察したたくさんの結晶のうち，変形が進むにつれて表面に汚れがでてくる結晶がときどきあらわれた。汚れは，はじめはまつたくみえないのである。結晶になにか溶けこんでいて，結晶が蒸発するにつれてそれが表面に集まるようになるのだと思われる。汚れのでる結晶のうち，図版の写眞 a b c に示したようなものがあつた。六花型の結晶で，はじめ写眞 a の形のものが，その枝が細つて消えてしまつたあとに，写眞 c にみられるような細い糸をのこした。このように場合によつては，汚れのもとになる物質が，写眞 c の糸になることもある。この糸は張力をうけていたらしく，結晶の枝の先に残つていた氷が蒸発してなくなつてしまつたら，直線から波形に形をかえた。後に残つた糸の太さは，直径凡そ 3μ であつた。

(文部省科学研究費による。)